

平成27年11月24日
地域振興部地域コミュニティ課

宮崎市高岡交流プラザの指定管理者候補者の選定について

宮崎市高岡交流プラザの指定管理者については、次のとおり候補となる団体を選定しました。
なお、選定された団体を指定管理者とする議案が、平成27年12月議会で可決された場合には、同団体が指定管理者として、本施設の管理運営にあたることとなります。

1. 指定管理者候補者の概要

(1) 団体等の名称

高岡いきいき未来ネット

【構成団体】株式会社NPK（代表構成員） 有限会社サン・グローウ

(2) 代表者名

【構成団体】株式会社NPK

代表取締役 児玉 和博

【構成団体】有限会社サン・グローウ

代表取締役 濱門 康三郎

(3) 主たる事務所の所在地

【構成団体】株式会社NPK

宮崎市柳丸町10番

【構成団体】有限会社サン・グローウ

宮崎市大字恒久6919番地14

(4) 設立年月日

【構成団体】株式会社NPK

昭和52年3月9日

【構成団体】有限会社サン・グローウ

昭和57年12月21日

(5) 設立目的

【構成団体】株式会社NPK

○商店、工場、ビル等の警備の請負及びその保障

○防犯、消防に関する助言ならびに設備機器の販売

○現金及び貴金属の護送業務およびそのための運送事業

○防犯機器の販売、設計及び賃貸の業務

○防犯、防災に関する調査及び指導の受託

○国民宿舎、劇場、公園等公共の施設をはじめ各種施設の管理、運営の請負

- 旅行業法に基づく旅行業
- 労働者派遣事業法に基づく労働者派遣事業
- 損害保険代理業務
- 農業法人の運営サポート並びに販売促進事業及び農業法人への出資
- 不動産の売買、賃貸、管理及びその仲介
- 介護保険法に基づく各種事業
- 障害者自立支援法に基づく各種事業
- 高齢者及び障害者の炊事、洗濯、掃除、買物、外出、旅行、娯楽等の付添い、援助及び介護補助等の生活支援サービス事業

【構成団体】 有限会社サン・グロー

- 医療・保健・福祉に関するトータルコンサルタント業務
 - 医療・保健・福祉のシステム化及び情報ネットワーク化に関する調査、研究開発、情報提供業務
 - 医療・保健・福祉施設を核とする地域開発計画に関するコンサルタント業務
 - 生命保険の募集に関する業務、損害保険代理業及び自動車損害保険代理業
 - 介護保険法に基づく各種事業
 - 障害者総合支援法に基づく各種事業
 - 高齢者及び障害者の炊事、洗濯、掃除、買物、外出、旅行、娯楽等の付添い、援助及び介護補助等の生活支援サービス事業
 - 各種調査及び情報処理事業
 - 地域開発・計画づくり、まちづくりに関するコンサルタント業務
 - 医療用品・介護用品関連商品の製造及び販売
 - 人材の育成、教育、訓練、技術指導業務
 - 教材の販売
 - 出版物の企画、デザイン、編集、製作、販売
 - 児童福祉法に基づく事業
- など

(6) 事業概要

【構成団体】 株式会社NPK

- ①警備業
- ②公共施設の指定管理業務
- ③機器販売・消防設備
- ④介護事業

【構成団体】 有限会社サン・グロー

- ①企画、コンサルタント、調査分析
- ②児童福祉法に基づく障害児通所支援事業

(7) 資本金又は基本財産

【構成団体】 株式会社NPK

10,000,000円

【構成団体】 有限会社サン・グロー
8, 000, 000円

(8) 従業員数

【構成団体】 株式会社NPK
従業員数：500人（平成27年8月28日現在）

【構成団体】 有限会社サン・グロー
従業員数：8人（平成27年8月28日現在）

2. 指定期間（予定）

平成28年4月1日から平成31年3月31日まで（3年間）

3. 施設及び業務の概要

(1) 施設概要

① 施設名

宮崎市高岡交流プラザ

② 所在地

宮崎市高岡町浦之名 4365 番地 4

③ 施設規模等

敷地面積 36,720 平方メートル

延べ床面積 1292.46 平方メートル

(2) 業務概要

①宮崎市高岡交流プラザ条例第2条各号に掲げる事業に関する事

②交流プラザの使用の許可に関する事

③交流プラザの施設、附属設備及び備品の維持管理業務に関する事

④前3号に掲げるもののほか、条例第1条に規定する目的を達成するために必要な業務に関する事

(3) 現在の管理方法

指定管理者による管理

指定管理者：高岡いきいき未来ネット（平成25年3月1日から平成28年3月31日まで）

4. 事業計画の概要

(1) 施設利用者の平等な利用の確保について

①施設管理運営の基本方針について

- ・人がいきいき、まちがいきいき、安心・安全で魅力溢れるまちづくりの拠点「高岡交流プラザ」の創造を目指す。
- ・全ての施設利用者に平等、公平、公正な利用機会の提供を目指す。全ての職員が平等な利用確保の観点を持って対応する。また施設の特長や地域性などに配慮しながら、特定の個人、団体の意見に偏ることなく〈入りやすい・使いやすい・また利用したい〉サービス

を提供する。

②具体的な業務内容や対応について

- ・施設の設置目的である「市民の交流の促進及び地域の連帯感の醸成」の具現化を図るために、多くの方が参加しやすい主催事業や各種イベントを企画実施する。
- ・施設を利用された個人や団体等の交流を促進するため、当施設利用者（個人・団体）の活動成果の発表会等を実施する。
- ・事業の運営にあたっては、高岡地区まちづくり委員会や自治会、各種団体と連携・強調して取り組む。
- ・防災に関わる活動は、市当局をはじめ関係団体との連携により防災拠点としての役割を果たす。
- ・防災意識を広く啓発するため高岡西部地区自主防災計画を策定する「自主防災計画づくり」連続講座として実施するとともに、特に地域住民に対しては、防災訓練、避難訓練を実施
防災・災害に関する情報提供に取り組む。
- ・災害時や緊急事態の場合には、避難所としての機能を充実させ、備蓄倉庫の有効活用に努める。
- ・「自主防災計画づくり」を通して、災害時だけでなく、普段の生活の中での地域住民との支え合いのネットワークを構築する。
- ・病気、怪我に対応する緊急管理マニュアルの作成及び職員の対応研修
- ・近隣の医療機関、警察、消防、宮崎市などとの連携
- ・利用者の意見を、アンケート、職員の聞き取りなどで幅広く回収し、利用者の声を苦情・要望等の対応を行い、市への報告を実施する。
なお、要望、意見、苦情については、代表構成員である株式会社NPKのお客様センターにて、365日、24時間体制で対応する。
- ・施設の利用に関する情報は、常に施設内の掲示板に表示し、ホームページに掲載するとともにチラシ、ポスターなど自社にて製作し、配布回覧を実施し多くの利用者に情報を発信していく。

(2)施設の設置目的を最も効果的に達成する事業計画について

①利用者サービスの向上に関する提案

- ・地域行事の招致や地域住民のイベントへの参加の促進、ボランティアグループとの連携によるイベント実施。
- ・地域代表者による評価委員会の設置（年2回開催）
- ・施設に関する情報の発信、充実したイベント・講座の実施により、市民交流を促進する。
- ・年1回の防災セミナーや防災訓練の実施、防災情報の掲示を行う。高岡西部地区の防災活動の拠点づくりを行う。また、市やボランティアとの連絡体制を築く。
- ・質の高いサービスを提供するために、利用者や地域住民からの意見聴取を行う。
- ・スタッフ全員が利用者と明るく丁寧なコミュニケーションを実行できるよう教育する。
また、高岡地区のイベントや地理歴史など地域の情報を把握し、利用者とのスムーズな交流に努める。
- ・「高岡交流プラザ瓦版」の作成・配布

- ・ホームページ、Facebook 等 SNS を利用した情報交換の場の設置

②利用者増への取り組みに関する提案

- ・創意工夫のある主催講座、事業の開催 ～幅広い世代に向けての講座の開催
- ・地域防災対策の拠点としての利用促進 ～地域防災ネットワークの構築
- ・多面的な情報発信
- ・施設ボランティア制度の拡大
- ・施設と利用者を繋ぐアクセス体制

③施設の設置目的の理解と課題の認識

- ・地域や世代を超えた様々な交流を促進し、ともに支え合う新たなヒューマンネットワークを形成し、ボランティアや各種団体活動の活性化を図りながら、市域の一体性を醸成するための場として、高岡交流プラザの核となる3つの事業「地域との連携強化・市民交流の促進・西部地区の防災活動拠点づくり」の展開に取り組んでいく。
- ・地域の連携強化に向けて、「①人に優しい健康福祉への取り組み」「②安全で快適な生活環境づくりの支援」「③未来を担う人間性豊かな人づくりの支援」「④新たな可能性を開く産業づくりの支援」課題と考え、それぞれの対応策となる事業や連携を行う。
- ・市民交流の促進への役割として、「①高岡町の歴史・文化の振興」「②健康増進・地域の絆作り」「③新たな交流の促進」を課題と考え、ボランティア活動をはじめとする市民による自主的な交流活動を促進していくために、高岡総合支所や地域の各種団体との連携協力体制を構築していく。
- ・高岡西部地区の防災活動推進のために、「①防災意識の啓発」「②機能の充実」「③住民とのネットワークの構築」を課題と考え、災害対策、災害時の緊急避難施設として住民の安心安全な生活を維持するための取り組みを計画的に実施していく。

④設置目的に沿って施設の効用を最大限に発揮できる提案

- ・社会の今日的課題、宮崎市の施策、地域の実態、市民のニーズを踏まえ、必要課題と要求課題のバランスを考慮し、魅力ある事業を実施する。
各事業（講座等）が終了した後は、実施結果を適切、迅速に評価し、次年度への活用に努める。また、自主サークルの育成にも努める。
- ・高岡西部地区の防災対策の拠点として、日常生活の防災、緊急避難場所としての機能の充実、地域の合同防災訓練の実施に向けて、高岡いきいき未来ネットと（社）みやざき公共・協働研究会、地域自治会、公民館連合会、学校関係、商工会、まちづくり団体と連携し地域自主防災ネット（自助、共助）を構築し防災に強いまちづくりを目指す。
- ・利用者からの相談に対してはあらゆる相談に傾聴し「受容と共感の心」を持って利用者に寄り添った支援を行う。
- ・アンケート・実績・市とのモニタリングに沿った事業を展開し、調理室や多目的グラウンド等を活用した事業や講座を開催する。

(3)施設の管理に係る経費の縮減について

- ・業務の効率化を意識したマニュアルの作成、グループ代表構成員事務局による事業計画・

予算の精査・適正執行の事業管理、点検業務等の年間スケジュールによる効率的な維持管理業務等により、管理業務の効率化を図る。

- ・グループ人材をいかした効率的な施設運営・維持管理業務を実施する。また、人員の配置においては、契約社員、パート社員などを活用し業務の状況に応じた人員配置を行う。
- ・業務委託においては、価格競争力・信頼性・地域性を考慮し、業者決定を行う。
- ・光熱水費等の削減目標を設定し省エネに取り組む。
- ・施設の清掃・美化は、職員・利用者一体となって取り組む。また、植栽管理等はボランティアの協力を得る。

(4) 事業計画書を着実に実施するための管理運営能力について

- ・人員体制については、業務経験、業務遂行に必要な有資格者の職員配置を行い、サービスの低下、業務の停滞が生じないよう万全の体制を整える。
- ・代表構成員事務局が定期的に訪問し、業務運営状況確認と必要に応じた指導を行う。
- ・職員の研修体制を充実し、職員のレベルUPを図る。
- ・宮崎市（地域コミュニティ課・高岡総合支所）や地域ボランティア等との連携を構築し、地域に開かれた施設の運営を行う。
- ・地域住民の代表や関係機関、団体の代表による評価委員会を設置する。

(5) 安全管理に対する対応について

- ・緊急連絡網を完備し、正しい情報の把握から初動対応までマニュアルに沿った即応体制を講じる。
- ・緊急時の災害対策は、NPK本社に災害対策本部を設置し、24時間体制で災害被害発生防止と発生被害への即応体制を維持する。
- ・不審者対策の安全管理マニュアルを活用し、施設の不審者に対する安全管理体制整備に取り組む。
- ・緊急時に不審者から自分自身の身を守るための対処法など、利用者、地域住民への指導の機会を設ける。また、株式会社NPK自らが企画した緊急事態を想定した防犯訓練を実施する。

(6) 環境保護及び障がい者雇用等について

①環境に配慮した施設管理

- ・「宮崎市環境基本計画や「宮崎市環境基本条例」等の指針を理解し、「環境にやさしい施設づくり」を目指し、電気使用料の削減、上下水道使用料の削減、紙使用料の削減、廃棄物の適正処理・減量化、再利用・リサイクルの推進等を職員に周知徹底する。

②再雇用及び障がい者の雇用の取り組み

- ・定年退職者（株式会社NPKは63歳）について、その後の生活の安定と退職者の技能の有効活用を図るため、定年退職後の再雇用を積極的に行っていく。
- ・障がい者雇用については、雇用機会の創出と並行して、職員とともに受け入れに向けての体制作りにも取り組んでいく。

また、障がい者が安定した職場で継続的に業務できる環境、仕事の内容、就労者が抱えた問題や事業所の問題など、職場内だけでは解決できない問題などに関するサポートを受け

ながら改善に取り組んでいく。

※「4.事業計画の概要」は、指定管理者候補者から選定に当たり示された内容であり、実際に行う事業の計画は、指定後に市と当該団体との間で協議の上、決定します。

5. 収支計画の概要

■収入

(単位：千円)

項目	28年度	29年度	30年度	3カ年合計
指定管理料	21,790	21,790	21,790	65,370
その他	300	350	400	1,050
収入合計	22,090	22,140	22,190	66,420

■支出

(単位：千円)

項目	28年度	29年度	30年度	3カ年合計
人件費	11,139	11,250	11,362	33,751
旅費	30	30	30	90
需用費	2,928	2,901	2,845	8,674
役務費	795	779	764	2,338
委託料	1,485	1,475	1,465	4,425
使用料	570	570	570	1,710
事業費	2,800	2,800	2,800	8,400
その他	2,204	2,184	2,174	6,562
支出合計	21,951	21,989	22,010	65,950

※「5.収支計画の概要」は、指定管理者候補者から選定に当たり示された内容であり、最終的な収支計画（指定管理料を含む。）は、指定後に市と当該団体との間で協議の上、決定します。

6. 選定結果の概要

(1) 公募の概況

① 応募団体

2団体

② 募集日程

要項及び申請書類様式の配布	平成27年7月24日
募集に係る現地説明会	平成27年8月5日
質問の受付【第一次】	平成27年8月10日～8月14日
質問の回答【第一次】	平成27年8月21日
提出書類Aの受付締切	平成27年8月28日
質問の受付【第二次】	平成27年9月2日～9月4日

質問の回答【第二次】

平成 27 年 9 月 11 日

提出書類Bの受付締切

平成 27 年 9 月 28 日

選定委員会（プレゼンテーション・審査）

平成 27 年 10 月 27 日

(2) 宮崎市高岡交流プラザ指定管理者候補者選定委員会

	所属団体
会長	地域振興部長
委員	高岡地域自治区地域協議会
〃	高岡地区自治公民館連絡協議会
〃	宮崎市消防団 高岡分団
〃	宮崎公立大学
〃	高岡総合支所地域総務課長
〃	総務部危機管理局危機管理課長

(3) 選定の概況

ア 選定理由

宮崎市高岡交流プラザ指定管理者候補者選定委員会において、申請者からの応募書類及びヒアリングをもとに、「宮崎市公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例」で定める基準により、総合的に審査を行った。

- ① 施設の運営が市民の平等な利用を確保するものであること
- ② 施設の設置目的を最も効果的に達成するものであること
- ③ 施設の管理に係る経費の縮減を図るものであること
- ④ 事業計画を実施するための十分な管理運営能力を有していること
- ⑤ 安全管理に対する対応
- ⑥ 環境保護及び障がい者雇用等の福祉施策の取組状況

その結果、下記の理由により、「高岡いきいき未来ネット」当該選定基準に最も適合していると認められたため、当該団体を指定管理者候補者に選定した。

- 高岡地域の特性をよく把握して、それに沿った運営を心がけている。
- 高岡の特色や地域資源を活用した事業を計画している。
- ボランティア制度の導入
- 各関係団体やボランティアと地域での防災ネットの構築

イ 審査結果一覧

選定の基準	満点 (配点×委員数)	最低 基準点	【候補者】 高岡いきいき 未来ネット	団体 A
①市民の平等な利用を確保できる計画となっているか。	210		156	147
②施設の設置目的を最も効果的に達成する計画となっているか。	525	210 (満点×40%)	394	359
③施設の管理に係る経費の縮減を図る計画となっているか。	140		78	81
④事業計画を実施するための十分な管理運営能力を有しているか。	350		243	239
⑤安全管理に対する対応	105		76	65
⑥環境保護及び障がい者雇用等の福祉施策の取組状況	70		48	49
合 計	1,400	840 (満点×60%)	995	940
選定委員会における多数決の結果			7	0
【参考】提案金額 (平成 28 年度～平成 30 年度 (3 年間))			65,370	65,350